

日本公衆衛生学会
公衆衛生活動・研究論文の書き方研修プログラム 2014

主催：日本公衆衛生学会 教育・生涯学習委員会
共催：京都大学 大学院医学研究科 社会健康医学系専攻

I. 目的・目標

目的：

公衆衛生分野での日常業務に基づく課題解決の過程を研究活動として科学的に実行し、その成果を日本公衆衛生雑誌をはじめとする学術誌に学術論文として発表する力を養成することを目的とする。

一般目標：

研究の立案から評価し、論文・報告書作成にいたる一連の過程を学習し、その技法と考え方を習得する。

個別目標：

1. 研究計画書の構成を理解し、自身で作成できる
研究計画の概要、研究目的、対象者選択基準、研究方法、調査項目、統計解析(予定対象者数を含む)、データ収集の手順、倫理的事項、研究中止基準、研究組織
2. 研究計画書の作成に必要な疫学原理を理解できる
疫学研究の考え方、研究デザイン
3. 研究テーマに沿った文献検索を行える
PubMed、医中誌 など
4. 研究実施時(後)に起こる問題・限界点を認識できる
バイアス・交絡、一般化可能性
5. 交絡調整に必要な統計手法を理解できる
層別化、統計モデルを利用した調整
6. 生物統計的な考え方を理解できる
統計的推定、検定、95%信頼区間、標本サイズの設定
7. 基本的な検定手法を理解できる
t 検定、カイ二乗検定
8. 検定・推定を実際に行うことができる
9. 保健医療分野における論文構成・表現法を知り、それに則った論文を執筆できる
研究のメッセージを わかり易い図で過不足なく伝えられる
目的と結論、背景と考察とがそれぞれ対応し、論旨明瞭でバランスよく書ける

II. 受講対象者

公衆衛生分野の業務に従事し、行政データに基づく研究を企画・実施し、その結果を日本公衆衛生雑誌など学術論文誌に論文投稿する意欲のある人

III. 受講者の必要条件

疫学、統計学の基礎を学んだ経験があること。PCの基本的操作ができること。
3日間通じて参加できること。

IV. 人数：50名程度

V. 場所： 京都大学

VI. 日時： 8月28日(木)－8月30日(土)

VII. 研修日程

8月28日(木)

午後	12:40	受付開始
	13:00-13:10	開講にあたって
	13:10-14:10	「論文の書き方 ～日本公衆衛生雑誌への掲載を目指すには～」 (田宮菜奈子)
	14:10-15:10	「研究の企画と論文作成に必要な統計学」 (佐藤俊哉)
	15:10-15:20	休憩
	15:20-15:50	「文献検索法 実習」 (猪飼 宏)
	15:50-16:50	「研究のデザインを考えよう」 (中山健夫)
	16:50-17:50	ワークショップ1 → 課題研究計画のテーマを相談
	18:00-	懇親会

8月29日(金)

	9:00- 9:30	「公衆衛生学研究、社会・臨床医学研究の展開」 (今中雄一)
	9:30-10:00	「研究デザインとデータ処理のピットフォール」 (川村 孝)
	10:00-12:00	ワークショップ2 (今中、猪飼、佐々木) → データ収集
	12:00-13:00	休憩
	13:00-14:00	「図・表の書き方など論文で留意すべきこと」 (佐々木典子)
	14:00-15:00	ワークショップ3 解析実習・グラフや表の作成
	15:00-15:10	休憩
	15:10-16:10	ワークショップ4 発表準備
	16:10-17:10	カウンセリング

8月30日(土)

	9:00-10:15	発表会 (今中、猪飼、佐々木)
	10:15-10:30	休憩
	10:30-11:45	発表会
	11:45-12:00	修了証授与

(*ワークショップには、ティーチングアシスタントがつきます。)

講師陣：

田宮菜奈子 筑波大学 医学医療系ヘルスサービスリサーチ研究室 教授、当学会編集委員会委員長
 佐藤俊哉 京都大学 大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 医療統計学分野 教授
 中山健夫 京都大学 大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野 教授
 川村 孝 京都大学 健康科学センター長、大学院医学研究科 社会健康医学系専攻予防医療学分野教授
 猪飼 宏 京都大学 大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 医療経済学分野 講師
 佐々木典子 京都大学 大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 医療経済学分野 助教
 今中雄一 京都大学 大学院医学研究科 同上 教授、当学会教育・生涯学習委員会委員長、世話人代表